

平成30年度第1回稲沢市総合教育会議 会議録

1. 日 時 平成30年7月25日（水）午後1時～2時15分

2. 場 所 稲沢市役所 議員総会室

3. 出席者

市 長 加藤 錠司郎

教 育 長 恒川 武久

教 育 委 員 藤 田 美知子 野 村 春 子

内 藤 晶 仁 吉 川 繁 樹

小 川 仁 美

教 育 部 長 遠 藤 秀 樹 教育部調整監 服 部 清 久

部次長兼生涯学習課長 岩 田 勝 宏 庶 務 課 長 榊 山 隆 夫

学校教育課長兼指導主事 吉 田 雅 仁 学校教育課統括主幹兼指導主事 吉 田 剛 往

スポーツ課長 長 崎 真 澄 図 書 館 長 前 橋 桂 子

美 術 館 長 山 田 美 佐 子

庶 務 課 主 幹 長 谷 川 隆 書 記 庶 務 課 山 田 菜 摘

4. 傍聴人の数 6人

5. 協議・調整事項

(1) 第6次総合計画における教育委員会各課の取り組み

6. その他

－ 開 会 －

●庶務課長

定刻になりましたので、平成30年度第1回稲沢市総合教育会議を開会します。はじめに、新しく教育委員になられました委員から自己紹介をお願いします。

(委員あいさつ)

●庶務課長

ありがとうございました。それでは、初めに加藤市長からご挨拶申し上げますし

ます。

(市長あいさつの後)

●庶務課長

ありがとうございました。本会議は稲沢市総合教育会議設置要綱設置要綱第5条第1項の規定により市長が議長を務めることとなっておりますので、会議の取り回しについては、市長にお願いいたします。

◎市長

規定でありますので、議長を務めさせていただきます。進行に御協力をお願いいたします。それでは、協議事項に入ります。「第6次総合計画における教育委員会各課の取り組み」、特に前期(2018年度から2022年度)の推進計画に当たる部分について、それぞれ担当課から説明をさせ、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。初めに、庶務課からお願いします。

●庶務課長

(別添の資料により説明)

◎市長

今非常に話題になっている空調設備(エアコン)の整備につきまして、我が市におきましては、平和中学校は既に設置されておりますので、それ以外の中学校8校についてエアコンを導入する工事が今始まろうとしているところでございます。そして小学校については、23校ございますので今年度1期目の設計をする。そしてその1期目の設計をしたところにつきましては、来年度、来年度設計をする2期目のところについては、再来年度2020年度に工事をするということで、エアコンの設置を計画通りに進めていきたいという気持ちでおります。これにつきまして、委員の皆様からなにかご意見ございますでしょうか。

○委員

他の市区町村と比べて稲沢市は今年度から設置が始まるということで、以前はうらやましがられていたのですが、今このような状況になりまして、今からやるというのは、23校の一部なんですけれども、前倒しして全校やるようなそんなような計画をしていただけたら、予算などいろいろあると思いますが、良いのでは無いかと思います。進めていただいているのは良いことですが、本当に今年この状況なので前倒しして全校やっていただけたらと思います。

◎市長

保護者の方々からもそのような意見をいただいておりますが、実はですね、国の義務教育施設について整備交付金がありまして、たまたま今年の中学校の整備につきましても、普通教室を災害時の避難所として使うという計画を立てた時に、国が補正予算として交付金を出すという話がございまして、それにより少しいただきましたが、今後国がどの程度実際交付金その他の措置をしていただけるかというのが具体的に明らかになっていません。これをですね、早い時期に行えば率が高くなるなど大きな国の制度の変更があればいいんですが、現行の制度では、国からの交付金がつくか分からない、もしつかなくても市単独でやらなければいけないと思ってやっているところです。今の所はそのままの計画で進めていきたい、ただ、もし国が非常に大きな援助をしてくれるということになれば、もう一度考え直しても良いのではないかと考えております。今のところ国ははっきりしませんので、そういったところでご理解いただきたいところでございます。よろしく願いいたします。

ほかはよろしいでしょうか。

○委員

関連でありますけれども、2018年度の設計第1期で2019年度に工事がある、設計第2期で2020年度に工事があるということでありましてけれども、どのような割合でどこの学校から行うかは決まっていると思っておりますが、そこを教えていただければと思います。

●庶務課長

このエアコンの設置に関しまして、いろいろ検討した結果ですが、空調に関してですが電気が良いかガスが良いなどそういったことも検討させていただきまして、一番効率的なのは都市ガスではないかということで私どもは進めさせていただいております。現在稲沢市内において都市ガスが引かれているところと引かれていないところがございますので、引かれていないところについては、東邦ガスと話をする必要がありますので後期分に回させていただきました。都市ガスが引かれているところについて、前期分ということで地域的にも分けて行うことも良くないと思っておりますので、まとまった地域から前期分を決めさせていただきました。また今後東邦ガスとの検討がございまして、後期分につきまして、都市ガスが引いていただけるかどうか分かりませんが、都市ガスが引けないところは、プロパンや電気で行うなど検討をさせていただくところでございます。

◎市長

そのほかの意見はございますでしょうか。

○委員

今全部やるのはなかなか難しいというお話を聞きました。そちらの方を順次進めていただけたらいいなと思います。そんな中で今日の中日新聞なんですけれども、熱中症講座緊急開催へという記事がありまして、その熱中症に対する対策などセミナーがあるということで先生方にもそういったことを学ぶ機会があるといいのではないかと思います。

◎市長

ありがとうございます。水泳の授業など夏休み中に行っているものについても、いろいろ配慮していただいているところでございます。また今の意見を参考にさせていただきたいと思います。

それでは次の課に移りたいと思います。学校教育課の方へお願いしたいと思います。

●学校教育課長

(別添の資料により説明)

◎市長

ありがとうございました。戦略事業として学校運営協議会、わかりやすくいうとコミュニティスクールというような言い方をするものでございますけれども、国の方も本格的に取り組むようにいってきております。これにつきまして、まずモデル校を決めて、2018年、2019年の2年間実施をする。その内容については、今の学校評議員制度がございまして、これよりもっと地域の方が学校運営に対して、積極的に関わる仕組みを作っていくということでございます。さらにモデル校を増やし、2020年度までモデル校での実施をして、2021年度から全校で実施をしていきたいと考えております。

そして、「セーフティ・プラスワン」については、PTAの会長さん達と市長の懇談会がございまして、小学校で実は一番大きく要望を受けておりますのは、「セーフティ・プラスワン」、以前は多様な学習活動支援事業と呼んでいましたけれども、これについての要望が多かったです。当時市内23校中11校で実施をしていて、後の12校では実施していなかった。義務教育であるにもかかわらず、教育の内容に差があってはいけないということを盛んに言われました。このことについて、なんとか全校で実施をできるようにということでその次の小学校の外国語教育推進事業も市費を投入して、先生を雇用してやっております。こういったものを上手に利用しながら、なんとか低学年の子供達を高学年の子供達と一緒に下校できるようなシステムを作っていこうというこ

とで始めたものでございます。私の思いもこもっております。小学校の外国語教育についても、2020年度からの本格的な実施に向けて、現在2校、大里東小学校、稲沢東小学校においてモデル校を設定をして、本格実施であれば高学年は年70時間、中学年が年35時間ということでモデル校で実施しているところでございます。

こういった内容につきまして、子供さんをお持ちの委員さんどのようにお考えですか。

○委員

「セーフティ・プラスワン」についてお伺いしたいんですけれども、以前に教師の勤務時間を減らしていく方向でという話をPTAの方からも伺いましたが、プラスワンを実施することによって、先生の勤務時間が増えるというようなことはないのかということと、授業の内容としましては、どのようなことをされているのかなど教えていただきたいです。

◎市長

教員の多忙化解消に対してこの事業が妨げになるのではというご心配だと思います。学校教育課長お願いします。

●学校教育課長

まず内容につきましては、本来学校の授業で行う教育課程内の活動を行っているわけではありません。子供の情操教育・豊かな心を育む・いろいろな体験をするというような活動をプラスワンの時間に行っております。そして教員の負担が増えるのではないかということに関しましては、その増えた時間分だけ講師を非常勤で充ててございますので、負担はありません。

◎市長

よろしいでしょうか。それ以外に委員さん何かございますでしょうか。

○委員

一斉下校ができるということは、非常に良いことだと思います。私がちょうど下校時に通りかかると、低学年だけだと帰りの列が乱れています。その列を管理するのは、大変なことだと思います。ですけど一斉下校だと比較的きれいな列で帰ってきます。やっぱり低学年だけだと保護者の方に負担も多いし、先生方の不安も多いのではないかという印象は、持ちました。だから一斉下校というのはありがたいことだと思います。

◎市長

ありがとうございました。肯定的な御意見をいただきました。

先生方の多忙化解消にもですね、低学年の下校指導をして、また高学年もとなると二度同じことをすることになり、一回で済むということは、むしろ多忙化解消になると思いますし、今、下校途中でのいろんな悲惨な事故も起こっております。こういったことに関しても、最後が自分の家の生徒は1人になるかもわかりませんが、その途中までは大勢の方で行っていただける体制ができるのではないかと考えておりますので、よろしく願いいたします。

それではほか御意見ございますか。

○委員

学校教育課の方からいろいろ提案がございましたが、特にまず1番目の学校運営協議会を試験的に大里東中学校からやっていただくということで、本当に学校の問題というのは、保護者・地域と一体となって取り組まなければいけない課題、また学校の事情を地域に知っていただくことによって、学校をよりよく運営していこうという方向で進めて行かれるということは、これは素晴らしいことではないかと思えます。

もう1つは、最近よく出てきます、いわゆる熱中症の問題、震災での事故の問題、こういう問題もですね、学校だけでは解決できないという風に思っております。やはり保護者・地域一体になって進めていくということが本当に望ましいのではないかと思えます。私の地域で1ついい話があるのですが、お墓がブロック塀なんですよね、そこも通学路になっているということで区長さんが先頭に立って、早くフェンスに作り直さなければいけないのではないかとそういうような意見も聞いておりますので、やはり一体となって取り組んでいくことが必要だと思えました。

それからプラスワンの事業についても、これはやはり稲沢市独特の政策でやってみえるんですよね。これによって保護者がどれだけ安心して子供達を学校へ送り出すことができるかというそういうことを思えば、本当に素晴らしいことだと思います。もう1つは、今の説明には無かったですが、中学校2年生のふるさと新発見学習推進事業も素晴らしい取組だなと思えます。稲沢市の中学生は、本当にいろんな学習にまじめに取り組んでいるかなと思えますし、稲沢についてもしっかり考えているのではないかなと、もっと進んで、稲沢ではこういうようなことをやっていった方が良いというような建設的な意見まで繋がっていくといいと考えます。

◎市長

ありがとうございます。特に民間のブロック塀の話が地域でも非常に話題になっていると思います。通学路に面した民間のブロック塀をどうするかということ市としても積極的に取り組んでいこうと考えている途中です。地域の方がですね、下校の際に危ないところがあるというところをしっかりと子供にも伝えていただけたらと思います。通学路の安全マップの見直し、その他にも考えておりますので、これについても地域の方が積極的に学校の運営に参加していただく仕組みを作っていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

またふるさと新発見学習推進事業についても評価をいただきまして、恒川教育長の重点的政策の1つだと思っておりますが、なにか教育長は意見いかがですか。

○教育長

今本当にありがたい言葉をいただいて、中学校2年生とはいえ本当に積極的な取組をし、斬新なアイデアをレポートに書いており、2年生の持っている力の大きさというものを感じさせていただいております。ぜひ続けていきたいと考えております。

もう1つは、学校運営協議会についてです。先ほどから良い御意見いただいている中でぜひ進めて行かなければいけないと思います。今学校教育に対して、学校が全てを担うというのは難しい時代に入っていると認識しておりますが、そういう中でぜひ家庭と地域が連携し、地域の子供達は地域で育てるという意識を強く持っていただくような施策にならないのかなということで、学校教育に地域の人も家庭・保護者も参画をするという気持ちを持ってやっていただきたいという強い願いもあります。本年度モデル校という形としてお願いしているところです。いろんな地域のやり方もあるのですが、稲沢をどう考えながらそして稲沢市としての学校運営協議会がどうあるべきか研究していただいて、それを参考にまたこれから広げていけたらなと思っておりますので、ぜひまたお力をいただいたり、御意見をいただければと思います。

◎市長

ありがとうございます。昔と比べるとですね、学校の中のことは全て学校の先生方にお任せするというのも中々難しい時代、あるいは地域や家庭のしつけをする力や子供を見守る力も昔と比べると弱くなってきているのかなと思います。そういうことで両方がよく協力をして、これからも学校運営にあたっていただきたいと思います。そして申し訳ございません、ふるさと新発見学習推進

事業の上にはですね、平和教育事業について書いてあります。これはこれまでは5年に1度でございましたが、今年から3年に1度にいたしました。そして、2018年度に広島へ子供達を派遣することになっております、これは以前との大きな変更点で3年に1度でございますので、全ていけるわけではございませんが、唯一の被爆国である日本の現状を知っていただける機会ができたということで皆様方に御紹介したいと思っております。

それでは、続きまして生涯学習課の方をお願いしたいと思います。

●生涯学習課長

(別添の資料により説明)

◎市長

生涯学習課の方からは、大里西公民館整備事業・稲沢公民館の増築事業・祖父江生涯学習施設整備事業について3つの説明がありました。いずれも2020年度まで平成でいうと32年度までになります。これはなぜかと申しますと、旧合併特例債の発効期限が2020年度末までに完成する事業ということがございましたので、こういったことになっております。合併特例債については、5年延長されることに国会の方で法律が通りましたが、旧来の計画通り2020年度までに進めるということで今進めている事業でございます。

今の説明に対して、何か御意見ございませんでしょうか。委員いかがですか。

○委員

大里西公民館の方を利用させていただいているのですけれども、確かにおっしゃられたように古くなってきていますし、利用される方が段々年齢が重なってきていまして、3階までの階段が結構大変という話も伺っています。そんな中で新しく建て替えてもらえるということで、皆さん期待していると思っております。

ただその建て替えている間は、今のその公民館をそのまま使うということでよろしいでしょうか。

●生涯学習課長

2020年度に北側の駐車場の敷地に建て替えをする計画をしておりますので、ですから2020年度までは、現在の公民館を使用していただけます。そして2021年度から新たな公民館で活動していただけるという風に考えております。

◎市長

ほか御意見ございますか。委員はいかがですか。

○委員

生涯学習施設ですが、私もいろんな地区を回っていてかなり利用者の温度差があり、高齢化というのは同じかと思いますが、やはり地域の方々に向けての啓発活動、またそうした施設を利用してですね、生涯いろんなことを学んでいくという姿勢で取り組むということが必要かなと思います。これは私事になってしまっていますが、母親がいろんな施設を利用してですね、本当に最後まで楽しくやっていたなと今思い出しますが、そういう方がたくさん増えて、そしてその中でもコミュニケーション・人間関係作りを進めていくともっと有意義に活動できるのではないかと思いました。

◎市長

ありがとうございました。全ての施設でございますが、今年度は基本設計を行い、そして来年度については大里西公民館整備と稲沢公民館の増築については、実施設計を祖父江の生涯学習施設については、工事を一部始められたらという風に思っております。2020年度には、工事が完了するという計画で進めております。それぞれいろいろ要望をいただいております。実はですね、なぜ行政経営改革のところに載っているのかということ、実は借地の解消も含まれております。大里西は実は借地がございます、それが解消するという件では経営改善に役立つだろうとなっております。またここに記載されておりますとおり、将来の町の姿を見据えて、資料46ページをご覧くださいのとおり、公共施設の総延床面積と書いてあります、これは方向性として少なくしようということになっております。こういったこと全体的に考えながら、公共施設の今後の在り方についても考えていきたいと思っております。御理解を賜りたいと思っておりますので、御協力をお願いします。

それでは、スポーツ課・図書館・美術館続けてお願いいたします

●スポーツ課長

(別添の資料により説明)

●図書館長

(別添の資料により説明)

●美術館長

(別添の資料により説明)

◎市長

3つの課からの説明が終わりました。1つずつ進めて行きたいと思っております。スポーツ課の事業について、スポーツ施設の整備事業とトップアスリートとの交流事業がございます。もう1つ先ほど説明が漏れていました学校教育の方で

すね、祖父江の中学校に道路をまたいで西の所にあるプールの件ですが、これにつきまして、祖父江の生涯施設と同様に旧祖父江支所の跡地に祖父江中学校のプールを移転しようと計画を進めております。道路を渡っていくということがなくとも済むようにと考えておりますので、こちらもスポーツの関連ではございませんが、申し上げておきます。スポーツ施設の整備事業とトップアスリートとの交流事業について何か御意見ございますか。

○委員

トップアスリートとの交流事業に関してですけれども、憧れを持ってスポーツに取り組めますし、モチベーションの向上が望めるので大変ありがたいことだと思っております。先ほどの御説明の中で中学生の方で交流があったという風にお伺いしましたが、部活動でいろんな活動を選択すると思うんですが、小学生のうちでも交流事業があると大変ありがたいなと思っておりますが、小学生との交流の予定はありますか。

●スポーツ課

先ほど説明させていただきましたが、豊田合成のトレフェルサが今年の8月に豊田合成アリーナで小学生と中学生を対象にしたバレーボールの教室を開催いたします。こちらは大変好評でして、申し込みが多数きております。

◎市長

2020年度東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。それに向けて、スポーツ課だけではなく、他の課でもオリンピックのアスリートを呼んで、講演会をやったりですね、いろんなことを予定しております。

秘書広報課は私の膝元なんですが、これについてもですね、8月18日から26日までリーフウォーク稲沢の方でオリンピックのトーチ、いわゆる聖火リレーに使うトーチを展示する事業をギリシャとのホストタウン事業として、行います。8月18日の10時半頃からオープニングセレモニーをする予定でございます。またこの事業も子供達にスポーツに興味を持ってもらえるような事業だと思っております。ギリシャと日本のメダリストに来ていただいて、講演する事業もスポーツ課ではございませんが、予定しております。学校関係でもございますので、学校教育課長お願いします。

●学校教育課長

今年度秋に高御堂小学校でオリパラ関係の県内で小学校唯一というチャンスをいただきましたので、そこでメダリストに関する講師を招いて、学べる機会を持ち、なおこれまでもですね、オリンピックに出場する選手を学校独自で例えば以前高御堂小学校ではレスリングで登坂選手に来ていただいたり、あるい

は千代田小学校など複数の学校でソニーの女子ホッケーの選手を招いて、そういう機会を設けさせていただいています。

◎市長

県内です、ホストタウン事業に稲沢市は積極的に取り組んでいるということが認められて、1校だけ高御堂小学校が選ばれたということでまたもし教育委員の方も時間があればご覧いただければと思います。そういった事業も進めているところです。委員はいかがですか。

○委員

実際に生で身近に感じるということは、とても子供達の心に残っていくものだと思います。それがまたスポーツに親しむきっかけにもなってもらえるのではないかなと思います。話は違うんですけども、各地区の総合型スポーツ振興が祖父江・平和であるんですけども、それ以外稲沢地区では、体育振興会がありまして、体育振興会の運営の方が実は高齢化してしまっていて、その後継者が中々難しいということで、各地区の方達も地元の体育祭の運営や地元のスポーツ振興に対して苦勞されているのではないかなと感じてはいますので、そのところもスポーツ推進員の方達を上手に指導していただいて、地元で体育振興会の若手の育成のようなことにも、少し力を入れていただくとこれからの稲沢市がスポーツの振興に発展していくのではないかなと感じます。よろしくをお願いします。

◎市長

ご要望だと思いますので、スポーツ課長また地域です、体育振興会の若手の担い手をぜひとも発掘していただくようよろしくお願いします。

それでは図書館・美術館2つについて、図書館がですね、来館者数が減っているお話がございました。43ページですね、図書館利用者数をなんとかアップさせようと参考資料を持っておりますけれども、図書館の利用者を向上させる何かこんなことをやったらという御意見ございませんか。

○委員

市内に3つの図書館があるというのは素晴らしい、恵まれた地域だなと思うんですが、前にも少し話題にしたことがあるかもしれませんが、それぞれ予算が組みれているというようなことで新刊図書ですか、これを購入していただいているのですが、私自身がやっていただきたいと思っているのは、ローテーションを組んで、3施設で共有した図書ということでやっていただけたら魅力ある本が近くにあるということであれば、利用者が増えるのではないかなと思います。私は祖父江の図書館を利用していますが、そんなことを思いました。

◎市長

図書館長いかがですか。例えばベストセラーになる新刊書をどういう風に運用しているかなどですね。

●図書館長

人気本につきましては、予約につきましても大変待ちが多いということで、複本を何冊か用意しております。人気本につきましては、各館に1冊ずつの準備はできておりますが、ローテーションということで各館の蔵書の関係で人気本をローテーションさせるやり方については、十分検討することが必要だと思いますが、そういったことも含めまして、今後図書館利用者の増加に向けて協議を重ねたいと思います。

◎市長

人気のある本を10冊入れても良いかなと、最大同じ本を多くて何冊くらいの例がありますか。

●図書館長

7冊で3図書館と公民館もございまして、9冊まで行くと最大になるのですけれども3館にはあります。

◎市長

各館には1冊ずつということですか。

●図書館長

各館1冊になります。また各館でお取り寄せもできますので、そういった形でやっております。

◎市長

そんな状況だということで、いろいろ努力させていただいています。各公民館にもございまして、いろんなものを利用して、人気のあるものを読んでいただけるようにということだと思います。

それでは美術館についてはいかがですか。委員いかがですか。

○委員

荻須作品の美術展などはやってらっしゃいますけれども、近代的なものなどどこらへんまで広げて収集される予定なのか気になります。時代が変わってきていまして、古典に入ってきてますよね、ですからこれから美術の事情からしたら、どういう展開になるのかなと思ひまして、私の疑問です。

◎市長

荻須記念美術館は、荻須作品しか所蔵していないということで美術館長いかがですか。

●美術館長

荻須記念美術館という特色を生かして、収集を考えておりますので現在のところ荻須作品ということになっております。他市の状況を見ますと、大変広く市の美術館として集めている所もありますけれども、特に現代のものはいろいろな素材などもありまして、劣化していくような素材、例えば段ボールアートなどは粉になってしまうと聞いたりもしました。中々現代のものは、難しいなということもありますし、今の所荻須記念美術館ということを活かして収集していこうと思っております。

◎市長

館長からもお話があったように、今年は市制60周年記念ということもありまして山形美術館からの協力もありまして、荻須高德さんが収集に協力したという作品の特別展を行いますので、ぜひとも皆さんに御覧いただけたらと思います。

それでは、時間がやってまいりましたので、ステージアッププラン前期5年間の主な取組の説明につきましては、これをもって終了したいと思います。

その他に移りますが、委員の皆様からなにかありますでしょうか。

○委員

私この冊子をいただいて、ステージアッププラン大変素晴らしいまとめ方がしてあると思ひまして、最初の計画の概要のあたりに統計資料がたくさんでございました。12ページ、いわゆる人口に占める過去1か年の転入人口の割合で稲沢市は、かなり低いところにあるかなということ、比較するには北名古屋市さん、大治町さん、清須市さんを見ると非常に高くて、また読まさせていただいて、気づいたこととしては、やはり稲沢市は魅力がある。子育てにも教育にも力を入れてやっていただいている。住みたいけれども住めないということが読んでよく分かりましたので、そのあたり市長さんもいってみえた、リニアに対する稲沢市の利便性は、近隣の市町では一番優れているのではないかと思いますので、これから10年市長さんがいってみえる活力ある人に優しいまちづくりというのを目指して頑張っていただきたいと思います。

◎市長

委員がおっしゃるとおり、実は12ページの表で見ていただきますと、転入の人口の割合が稲沢は低くて、なぜかという根本的には簡単に転入できていないということで調整区域が圧倒的に多くてですね、市街化区域が11.3%しかありませんので、住宅の建設ができないということが一番の原因だと思います。稲沢市には、大きな可能性はあるけれども、その可能性が生かしきれ

だけの土地利用政策がないということが一番の大きな原因だと思います。それを少しでも補えないかということで、「子育て・教育は稲沢で！」ということでいろんな子育てや子育て支援策や教育に対する施策を充実させようと思っておりますけれども、やはりそれだけで人口は中々増えないというのが最近明らかになってきているところです。しかし、なんとか「子育て・教育は稲沢で！」を魅力に感じて稲沢市に引っ越していただける方が増えるような施策を今後ともとっていきたいと思っておりますので、教育委員の皆様方にも御協力お願いいたします。

ほかにはいかがですか。

○委員

今市長がおっしゃられた「子育て・教育は稲沢で！」ということでもありますけれども、冊子の中の子育て教育3-1にいろいろ書いてありますけれども、たまたま今回資料をいただいた時に、知り合いから不妊治療のことについてなんですけれども、一宮市では特定不妊治療の助成金の他に一宮市からもできるけれども、稲沢市では一般不妊治療費の助成はあるけれども、特定不妊治療の助成はないと妊娠期からの子育て支援とありますけれども、大変これも重要でありますけれども、子供が出来にくい・妊活をされている方の財政支援も少しお考えになっていただけるとそういった人たちも心強いのかなというような気がして、お話を伺ってきましたので伝えさせていただきます。

◎市長

不妊治療については、稲沢市が一番進んでいると思います。どういう風に聞かれたかは分かりませんが、今具体的にはお答えできませんが、またお答えさせていただきます。金額は県内で最高の金額です。ただ不妊の検査であるとか体外受精に対して、援助するかというところが問題があります。そのことが他市と比べて稲沢市が遅れているとは思っておりません。むしろ進んでいると思います。前市長が力を入れて取り組んでみえたので。それからいわゆる結婚ということに対して、行政が踏み入れていくのは中々難しい事情がございました。今回は、結婚活動の支援ということから総合計画に入れておまして、稲沢市自体も婚活事業を進めております。こういうこともやはり行政が手助けをしなければいけない時代がやってきたのではないかと考えておりますので、付け加えさせていただきます。不妊治療につきましては、後ほど具体的に話させていただきます。

それでは時間がまいりましたので、皆様からいただいた意見・御提言を参考に今後の行政を進めていきたいと思っておりますので、以上で協議を終わりたいと思

います。慎重審議いただきまして、ありがとうございました。

これ以降は、事務局お願いいたします。

●庶務課長

市長ありがとうございました。連絡させていただくことは、ございませんので、次回の開催日時についてご案内いたします。

次回、特定な日はまだ決めておりませんが、第2回は、来年の2月に開催させていただく予定です。改めて担当のほうから日程調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。

これをもちまして、第1回稲沢市総合教育会議を閉じさせていただきます。本日は、ありがとうございました。

－ 閉 会 －